

新型コロナウイルスの感染を予防する消毒方法について

松前町役場 健康推進課

新型コロナウイルスは「接触」か「飛沫」により感染します。
したがって、感染予防のためには、以下が重要なポイントとなります。

1. ウイルスを含む飛沫が目・鼻・口の粘膜と接触するのを防ぐ
2. ウイルスが付着した手が、目・鼻・口の粘膜と接触するのを防ぐ

手指の消毒には消毒用アルコールを用いますが、身の周りの物の表面の消毒には、多くのご家庭にもある塩素系漂白剤が有効です。

よく触る場所を、希釈した塩素系漂白剤で**ふき取って**消毒しましょう。

消毒用アルコールは現在入手困難ですが、塩素系漂白剤は比較的安価で入手可能です。

ウイルスの除菌に使用できる消毒剤

手 指 ： 消毒用アルコール(濃度 70%以上)

物の表面 ： 塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム原液濃度約 5~6%)

※次亜塩素酸ナトリウムを含む商品例としては、ハイター、ブリーチ、ピューラックス等があります。

塩素系漂白剤は用途に応じ、下記の表を参考に希釈して使用してください。

古くなった製品は効果が薄いので、希釈して使用する場合は、その都度消毒液をつくるか、数日で使い切ることをおすすめします。

塩素系漂白剤の希釈方法について

| 用途 | 濃度 | 希釈方法 |
|-------------|-------|--|
| ドアノブ・手すり等 | 0.05% | 500ml の水道水に塩素系漂白剤を 5ml(ペットボトルのキャップ 1 杯分)を入れる |
| 吐しゃ物が付着した床等 | 0.1% | 500ml の水道水に塩素系漂白剤を 10ml(ペットボトルのキャップ 2 杯分)を入れる |

消毒方法

1. 準備

日ごろの整理整頓、ゴミやホコリを取る清掃がまず必要です。

換気しながら行いましょう。

塩素系漂白剤を吸い込んだり、直接手指についたりすることを防ぐため、マスクや手袋を着用しましょう。

使用後のペーパータオル等を入れ、廃棄するためのビニール袋を準備しましょう。

正しく希釈した消毒液を作ります。

2. 消毒方法

消毒液を十分に含ませてしぼったペーパータオル等で、消毒する場所を拭き取った後（一方向に拭く）、から拭きします。金属部分は腐食する可能性があるため、消毒後に水拭きします。

スプレー式ボトルでの噴霧は、ウイルス拡散の可能性があるので、好ましくありません。

また、アルコールを吸い込むことによる健康被害も懸念されます。

ペーパータオル等に消毒液を含ませてから、拭き取るようにします。

3. 消毒場所

手指がよく触れる場所を消毒します。

※新型コロナウイルスの残存期間は、現時点では不明とされています。

主な消毒場所は別表を参照ください。



4. 消毒後の注意

消毒が完了したら、手をよく洗いましょう。

手荒れがあるとウイルスが残りやすいと言われていいますので、ハンドクリーム等で手荒れを防ぐことも重要です。

※上記の消毒方法は、新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザやノロウイルスにも通用します。

別表

| 主な消毒場所 | | |
|-------------------------------|---------------------|--|
| 家庭や職場 職場や 集合住宅の共用 部分 | 居間・食事部屋 | ドアノブ 窓の取っ手 照明のスイッチ ソファ テーブル 椅子 電話機 コンピューターのキーボードとマウス 小児玩具 壁 床 など |
| | 台所・トイレ等 | 蛇口レバー 洗面器 ドアノブ 窓の取っ手 照明スイッチ 排水溝 水洗便器と流水レバー 便座とフタ 汚物入れ 壁 床 など |
| | 衣類・寝具 | 通常の洗濯機で問題ないと言われていますが、 気になる場合には、熱湯消毒(80℃、10分以上)し てから洗濯機にかけます。 |
| | エレベーター エスカレーター | エレベーターの呼び出しボタン・停止階ボタン エスカレーターの手すり部分 |
| | 建物の出入り口 | 建物の出入り口にあるドアノブ・ハンドル セキュリティー対応のオートロックボタンなど不特 定の人が触れる部分 窓口テーブル・ペン・老眼鏡・タッチパネル |
| | 共用のトイレ 給水場所、洗面台等 | ※家庭や職場の「台所・トイレ等」の欄参照 |